

2023年7月23日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第66巻第16号(通算3348号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

聖霊降臨節

第9主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 黙祷

招きの詞 詩編

139編 23-24節

賛美歌 21-53番「神のみ言葉は」(©著作権消滅)

聖書 創世記

28章 10-19a節

お祈り

賛美歌 21-393番「こころを一つに」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ「Dream Come True」

岡嶋 千宙 伝道師

賛美歌 21-12番「とうときわが神よ」(©教団讚美歌委員会)

主の祈り 62番「天にいますわたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福

岡嶋 千宙 伝道師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

23 神よ、私を調べ、私の心を知ってください。

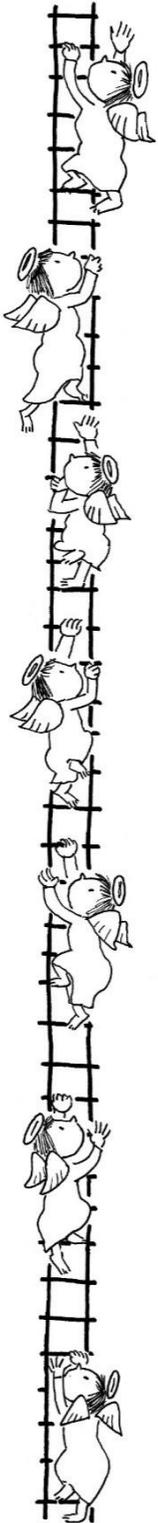
私を試し、悩みを知ってください。

24 御覧ください

私の内に^{ぐうぞうすうはい}偶像崇拝の道があるかどうかを。

とこしえの道に私を導いてください。

(脚注 a：別訳「痛みの道」)



聖書 創世記 28 章 10-19a 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

10 ヤコブはベエル・シェバをたつて、ハラシへと向かった。11 ある場所にさしかかったとき、日が沈んだので、そこで一夜を過ごすことにした。彼はそこにあった石を取って頭の下に置き、その場所に身を横たえて眠り、12 夢を見た。すると、先端が天にまで達する^ろ階段が地に据えられていて、神の使いたちが昇り降りしていた。13 すると、主がそばに立って言われた。「私は主、あなたの父祖アブラハムの神、イサクの神である。今あなたが身を横たえているこの地を、あなたとあなたの子孫に与える。14 あなたの子孫は地の塵^{ちり}のようになって、西へ東へ、北へ南へと広がってゆく。そして地上のすべての氏族^{しぞく}は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。15 私はあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにしてもあなたを守り、この土地に連れ戻す。私はあなたに約束したことを果たすまで、決してあなたを見捨てない。」16 ヤコブは眠りから覚めて言った。「本当に、主がこの場所におられるのに、私はそれを知らなかった。」17 そして怖くなって言った。「この場所はなんと恐ろしい所だろう。ここはまさに神の家ではないか。ここは天の門だ。」

18 ヤコブは朝早く起きて、頭の下に置いていた石を取り、それを柱として据え、その上に油を注いだ。19 そしてその場所を^{ベテル}と名付けた。

(脚注 b：別訳「はしご」、c：「神の家」の意)

《先週のメッセージより》7月16日 礼拝メッセージ

「たくさん赦してもらったから」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 7章 36-50節

今回のお話は、ある女性が食事の席でイエス様の足を自分の髪の毛で拭い、香油を塗ったというお話でした。その女性は罪深く関わりを持ってはいけな^いと見なされていたので、周りの人はその女性を非難しましたが、イエス様はその女性を高く評価しました。罪人に触れたり、関わったりすると、その相手から穢^{けが}れ、不浄が移って、自分までも穢れてしまうと考えられていた時代でしたが、イエス様は彼女を非難した人たちに対して、「この人が多くの罪を赦されたことは、私に示した愛の大きさ（足を拭い、香油を塗った行為）で分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない」。ここで「赦す」と訳されている語の元々の意味は、「帳消しにする」という意味ではなく、「そのまま行かせる」という意味です。またここでは過去形のように訳されていますが、正しくは完了形ですから、もう既に「赦されている」「そのまま行って大丈夫」と訳す方が適切です。この女性がイエス様に愛の行為、感謝の行為をしたから、その結果として罪を赦してもらったのではなく、先に既にたくさん赦してもらっていると感じられたからこそ、彼女はイエス様に対して感謝の気持ちで接することが出来たのではないかと思います。

周りの人から「罪深い人だ」と後ろ指を指され続けていたこの女性は、自分自身のことをどのように受け止め、理解していたのでしょうか。きっと人から言われる以上に、自分自身のこと嫌いで、憎くて、情けなかったのではないかと想像します。しかし、イエス様が行く先々で、苦しんでいる人たちに、「大丈夫。あなたもそのまま、価値のある存在、価値のある命ですよ」と声をかけられ、宣言され続けているのを伝え聞き、彼女自身も救われた思いがしたのでしょう。だからこそ、彼女はいても立ってもいられなくなって、イエス様を訪ねて来たのだらうと思います。私たちは日々多くの恵みを頂き、たくさん赦してもらっているからこそ、謙虚に神様に感謝したり、隣の人を大切にしたりすることが出来るのだと思います。自分の力では人を大切にすることなんて覚束ない私たちですが、そんな私たちが今日も命を与えられて、生かされているということ、それ自体がたくさんの赦し、たくさんの恵みであることを心に留めて、安心の内に、また一日の歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (7月16日) 聖霊降臨節第8主日礼拝

礼拝出席 大人5名 献金 大人5,000円 中継動画再生数5回 感謝
 昨日22日(土)に、大浦農園へ梅干し作りのための「シソもみ」の縁農に、大人4人とこども2人で行って参りました。釜ヶ崎からは7名の方が来られました。

◎次週 2023年7月30日(日) 聖霊降臨節第10主日

招きの詞 詩編 105編 1-2節
 聖書 創世記 29章 15-20節
 メッセージ「姉の名、妹の名」岡嶋千宙伝道師
 賛美歌 21-55 (©P.D.)、21-465 (©P.D.)、21-471 (©P.D.)
 礼拝の中で、今年度7月までにお生まれの方の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後11時半頃より、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。
- ・「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。感染症や熱中症の予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・7月25日(火)14時~16時に高の原教会(奈良市)にて日韓教会婦人交流会「虹の会」が開催されます。高の原教会の竹ヶ原牧師による礼拝と、京都にあるゴスペルハウス教会の金度亨牧師による講演があります。どなたでもご参加ください。事前申込は不要で、ZOOMによるオンライン参加も可能です。ZOOM参加の際には、ミーティングID: 872 2594 6755 パスコード 678315を直接、入力の上ご参加下さい。
- ・7月29日(土)13時半~15時半に同志社大学神学館チャペル(京都・今出川キャンパス)にて、5月に新教出版社から刊行された新刊『日本におけるキリスト教フェミニスト運動史—1970年から2022年まで』の合評会が開催されます。事前申込は不要で、当日参加費も無料です。前半は4人の評者による書評、後半は意見交換が行われる予定です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/6	水谷牧師	平和聖日(教会を考える会はお休みです)
8/13	牛田牧師	
8/20	牛田牧師	
8/27	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援

日韓教会婦人交流会
第31回 虹の会

日時: 2023年7月25日(火) 14時~16時
 場所: 日本基督教団 高の原教会

礼拝: 「アンダー・シン」 ローマの使徒への手紙3章9~18節
 高の原教会 竹ヶ原政輝牧師

講演: 「約束の民—境界線を消していく人々」
 ゴスペルハウス教会 金度亨牧師

金度亨牧師プロフィール
 韓国メソジスト神学大学院、関西学院大学大学院で学ぶ
 2002年、牧師就任
 2002年、韓国メソジスト教会から日本基督教団に宣教師として派遣
 2002年~2008年、日本基督教団甲府教会で宣教師
 2009年~現在、日本基督教団ゴスペルハウス教会設立・主任牧師
 教会に在りながら水が地域に流れて行くことを目指し、地域の人たちとつながるために、教会(Church)・カフェ(Cafe)・文化(Culture)の「3C」を掲げ、カフェを営み、韓国語講座などの文化教室を開催している。

ZOOM
 ミーティングID: 872 2594 6755
 パスコード: 678315

お越しになれない方はオンラインでご参加下さい。出席者だけ会場にお参り下さい。参拝の機会までお待ちしております。なお、会場教会への問い合わせはご遠慮下さい。

主催 日本基督教団大阪教区婦人会連合会
 在日大韓基督教団関西地方教会女性連合会

新刊『日本におけるキリスト教フェミニスト運動史—1970年から2022年まで』*合評会

日時 2023年7月29日(土)
 13時30分~15時30分
 (開場12時30分)

場所 同志社大学
 神学館チャペル
 (京都・今出川キャンパス
 裏面の地図参照)

プログラム
 前半 4人による書評
 司会 藤谷ひとみさん(CISMOR/サー・フェロー)
 評者 佐藤あかねさん(日本国出使)
 藤原さゆりさん(日本・メソジスト同盟法平牧師)
 金一恵さん(在日大韓基督教団)
 甲斐子さん(日本基督教団)

後半 フロアのみなさまと編者をお交えて
 自由に意見交換

*参加費無料、事前申し込み不要(先着100名様まで)
 *当日、書籍を販売します(早めにご来場ください)

主催(共催) 同志社大学 一神学館研究センター(CISMOR)
 リサーチ・フェロー研究会(キリスト教研究部門)
 公益財団法人 基督教フェミニスト・エシヤニオン
 富坂キリスト教センター

問い合わせ 富坂キリスト教センター 〒112-0002 東京都文京区小塚1-17-41
 TEL:03-3812-3852 FAX:03-3817-7255 e-mail:otada@icam.asia.jp